

年末賞与(一時金)の支給状況 《最終集計》

本協会が実施した年末賞与(一時金)の支給状況調査(最終集計)では、報告のあった89社の支給額平均は52万111円で、前年と比べ3万7528円(7.78%)上回った。2年連続のプラスで、今回はすべての業種で昨年を上回った。

【最終集計】令和4年年末一時金取組状況

業種	社数	支給率(ヶ月)	支給額(円)	前年比金額(%)
製造業計	46	2.16	574,868	7.13
化学	14	2.33	655,868	1.36
機械器具	5	2.32	720,645	12.92
食品	2	2.70	529,260	0.12
金属製品	5	1.90	518,943	28.09
電気機器	7	2.22	590,557	11.93
その他	13	1.96	462,861	3.83
非製造業計	43	1.81	461,442	10.38
運輸・通信	10	2.07	453,949	11.19
金融	2	2.45	—	—
卸・小売	14	1.71	444,587	16.36
土木・建設	9	1.84	566,830	6.96
その他	8	1.50	357,626	7.13
全平均	89	1.99	520,111	7.78

規模	社数	支給率(ヶ月)	支給額(円)	前年比金額(%)
100人未満	43	1.80	454,054	9.42
100人～199人	24	2.04	501,970	20.85
200人～499人	13	2.32	633,764	12.68
500人以上	9	2.39	736,644	23.08

※「—」は支給額非公表につき、数値を伏せているが、平均値には含む。

・業種別にみると、製造業は57万4868円で前年と比べ3万8274円、率にして7.13%上回った。2年続けてのプラスとなった。機械器具、金属製品、電気機器の3業種で2桁のプラスとなった。

・非製造業は46万1442円で前年と比べ4万3409円(10.38%)前年を上回った。伸び率は昨年の6.19%を上回った。非製造業も2年連続のプラスとなった。運輸・通信と昨年マイナスだった卸・小売が2桁のプラスで全体をけん引した。

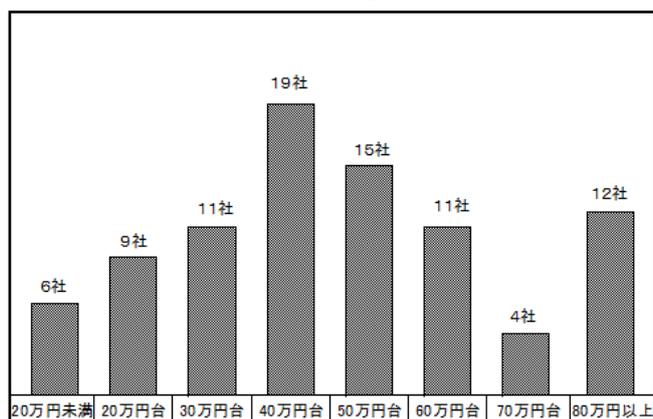
・規模別では、すべての区分で前年を上回り、100人以上の3区分で2桁増となった。

・支給額の分布では、40万円台が最も多く、次いで50万円台だった。

・80万円以上の12社のうち、県内本社企業は9社、県外が3社。業種別内訳は、製造業が9社、非製造業は3社だった。

・前年の支給額と比較できる87社のうち、前年を上回った企業が45社と全体の51.7%を占めた。下回ったのは23社(26.4%)、昨年と同額は19社(21.8%)だった。

支給額の分布



増減率(対前年)の分布

